



平成25年 7月 24日
国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

夏休みの思い出づくり～体感！三河港～

～三河港湾事務所 夏休み親子見学会 参加者募集～

1. 概要

愛知県の東三河地域の4市(豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市)にまたがる重要港湾三河港は、完成輸入自動車の台数・金額とも20年連続全国1位となるなど、東三河地域を含む三遠南信地域全体の経済を支える港となっています。

また、完成自動車の他にも鋼材、住宅資材やオレンジジュース等といった一般貨物、コンテナ等も取り扱うなど暮らしと密着した港です。

当事務所では港湾管理者である愛知県と協力しながら、地域経済発展のため、環境にも配慮しながらより使いやすい三河港の実現を目指して、港湾施設の整備を進めています。

この度、地域の皆様を中心により三河港を知っていただくため、「夏休み親子見学会」を企画いたしました。

この機会に見学会に参加していただき、「三河港」を「見て」、「感じて」、「調べて」みて下さい。事務所一同、多くの方のご応募をお待ちしております。

2. 日時 平成25年8月28日(水)13:00～17:00 荒天時中止

※詳細は、別紙1(開催概要)、別紙2(募集方法、集合場所)参照

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、豊橋市政記者会、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 企画調整課 日置(ひおき)

Tel 0532-32-3252 Fax 0532-32-5049



旬な現場

開催概要

三河港湾事務所 夏休み親子見学会
“夏休み”の思い出づくり

～体感！三河港～



三河港にて日本で最も多く取り扱われている“貨物”は何か？
押し寄せる波から港内を守る“防波堤”は何から出来ているか？
海の水質はどうなっているか？

夏休みの最後に三河港を“見て”“感じて”“調べて”を体感していただけるプログラムをご用意しました。皆さん、ぜひお越し下さい！



見てみよう“三河港”

(積み荷を積んだりおろしたい様子をかモメリアからご覧いただきます。)

感じてみよう“三河港”

(ケーソン※の大きさを体感していただきます。)

調べてみよう“三河港”

(船から“みなと”を見ていただきます。また海の水質も道具を使って確認していただきます。)

※ケーソンとは？…フランス語で「大きな箱」という意味です。鉄筋コンクリートで作った箱のことで、波を防ぐ防波堤や船をとめるための岸壁として使用します。

【日時】：平成 25 年 8 月 28 日（水）13:00～17:00（予定）荒天時中止

【集合場所・時間】：当日 13:00 豊橋駅新幹線改札口前（解散も同じ）

【見学箇所】：三河港内（ポートインフォメーションセンター「カモメリア」（神野地区）、ケーソン製作場所（明海地区）、船上見学（乗船時間約 1 時間程度）

【募集定員】：50 名（応募多数の場合は抽選）

【 募 集 方 法 】

8月12日（月）までに「夏休み見学会参加希望」を明記のうえ、

- ①参加希望者全員の氏名
- ②住所
- ③年齢
- ④代表者の連絡先（電話番号、ファックス番号又はメールアドレス）

上記を記入のうえ、三河港湾事務所のファックス（0532-32-5049）又はメール（info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp）まで、様式自由にて申し込み下さい。

募集締切後に応募者多数の場合は抽選を行い、当選者の方には当事務所担当者より電話、ファックス又はメールにてご連絡をします。問い合わせについては、三河港湾事務所ホームページ（<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>）をご覧くださいか、三河港湾事務所企画調整課（土・日・祝日を除く 8:30～17:15）（0532-32-3252）までご連絡下さい。

また、前日（8月27日（火））の13:00までに見学会開催の有無を決定します。開催の有無は事務所ホームページ（<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>）にて掲載します。中止の場合のみ、当事務所担当者から参加者の皆様にご連絡します。

【参加者集合場所（解散も同じ）】

豊橋駅新幹線改札口前



（以上、JR 東海 HP より引用）

【報道関係者集合場所（解散も同じ）】

ポートインフォメーションセンター
「カモメリア」

住所：愛知県豊橋市神野ふ頭町 3-29

電話：0532 (34) 3712



「カモメリア」
周辺図

（以上、豊橋市資料より引用）